



沖縄労働局発表
平成30年5月29日

担当	沖縄労働局 労働基準部
	健康安全課長 長濱直次
	安全衛生係長 城間豊和
	電話：098（868）4402

「沖縄労働局第13次労働災害防止計画」

(2018年度からの中期5か年計画) を策定しました。

(安全・健康に働く県民職場の実現に向けて)

沖縄労働局（局長 安達 隆文）は去る4月26日に、沖縄県内での労働災害防止対策を推進するための中期5か年計画を策定しました。

「沖縄労働局第13次労働災害防止計画」は、県内の労働災害防止のため、厚生労働省沖縄労働局、労働基準監督署、事業者、労働者等の関係者が重点的に取り組む事項を定めたもので、主要な目標と重点事項は以下のとおりです。

沖縄労働局では、目標の達成に向けた取り組みを進めていきます。

1. 主な目標

- ・ 死亡災害：15%以上減少
- ・ 死傷災害：5%以上減少
- ・ 6年連続全国ワースト1の定期健康診断結果の有所見率の値を改善し、併せて全国平均値との差を7ポイント以内にする。

2. 重点事項

- (1) 死亡災害の撲滅を目指した対策の推進
- (2) 過労死等の防止等の労働者の健康確保対策の推進
- (3) 就業構造の変化及び働き方の多様化に対応した対策の推進
- (4) 疾病を抱える労働者の健康確保対策の推進
- (5) 化学物質等による健康障害防止対策の推進
- (6) 企業・業界単位での安全衛生の取組の強化
- (7) 安全衛生管理組織の強化及び人材育成の推進
- (8) 県民全体の安全・健康意識の高揚等

<添付資料>

(別添1) [沖縄労働局 第13次労働災害防止計画](#)

(別添2) [沖縄労働局 第13次労働災害防止計画のポイントと概要](#)

[沖縄労働局 第13次労働災害防止計画のページへ](#)



安全・健康に働く県民職場の実現に向けて